サポート情報記事

ポリシー監査ログを確認してエクスポートする方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

適切なログを開く 4

イベントを解釈する 5

読み込まれたエントリをエクスポートする 5

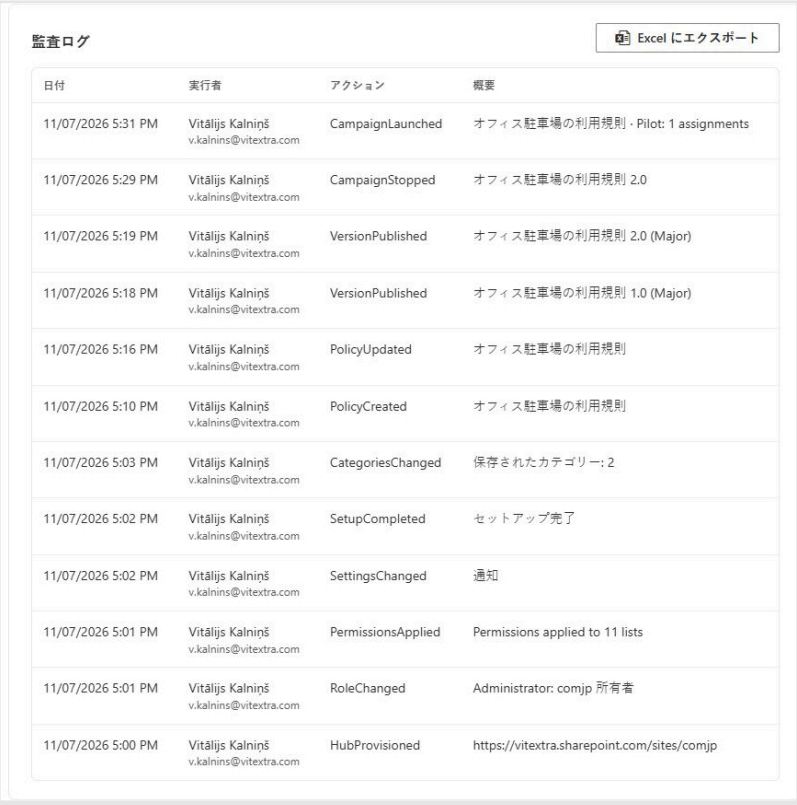
調査記録を作成する 6

監査ログは、Policy Acknowledgement の一部の管理操作と運用操作を記録します。管理者は、誰がキャンペーンを開始し、設定を変更し、バージョンを公開したかを確認できます。従業員の確認は別の確認ログに保存されるため、監査エクスポートだけでは完全な証跡一式にはなりません。

適切なログを開く

1 調査対象のハブに接続された Policy Admin を開きます。
2 監査リストを読み取れる管理者アカウントでサインインします。
3 **監査ログ** を選択します。
4 イベント時刻、実行者、操作、概要を確認します。ポリシー、キャンペーン、その他の識別子が調査対象に関係することを確認します。
5 概要が現在の状態を表すと決めつけず、イベントを現在のポリシーまたはキャンペーンのレコードと比較します。

このタブは、レコード ID の降順で最新の 500 件を読み込みます。残りの履歴を取得するページ切り替え機能はありません。これは表示とエクスポートの制限であり、基になるリストから古いレコードが自動削除されるという意味ではありません。



監査ログの最近の管理イベント

イベントを解釈する

イベントには、ポリシーの作成と更新、バージョン公開、状態変更、見直しの確認、キャンペーンの開始と停止、リマインダー、ロールと権限の変更、設定、カテゴリ、プロビジョニング、整合性チェック、レポートのエクスポートなどが含まれます。操作識別子と保存された概要は、記録時の言語のまま残る場合があります。インターフェイスの言語を変更しても、過去のイベントデータは翻訳されません。

タイムスタンプはレコード識別子および実行者と併せて確認します。インターフェイスはイベントのタイムスタンプを使用し、必要に応じてアイテムの作成日時を使用します。イベントは、アプリケーションが関連操作を試行または記録したことを示します。最終結果を判断する際は、基になるレコードを確認してください。

警告

業務データの更新と監査の書き込みは別々の操作です。ポリシーやキャンペーンの変更が成功しても、その後の監査書き込みが失敗することがあります。逆に、最新 500 件にイベントがないことは、その操作が一度も行われなかった証拠にはなりません。このタブは、SharePoint の完全なセキュリティログや変更ログではありません。

読み込まれたエントリをエクスポートする

Excel にエクスポート を選択し、承認された場所にブックを保存します。ファイル名の形式は `PolicyAuditLog_YYYY-MM-DD.xlsx` です。エクスポートには読み込まれたイベントが含まれ、表に表示される情報に加えて実行者アカウントとシリアル化された詳細が出力されます。

詳細列で、概要に収まらない識別子や背景情報を確認します。これらの値はアプリケーションが記録したデータであり、すべてのフィールド変更を再構築した履歴ではありません。要求された期間をブックが網羅すると説明する前に、最も古いエクスポート対象イベントを確認してください。

この範囲外のイベントが調査に必要な場合は、ハブの管理者に、承認された方法で該当する元のレコードを取得するよう依頼します。このタブに全履歴のエクス

ポートボタンはありません。元のブックを保持し、それを基に作成したフィルターや抜粋を記録してください。

調査記録を作成する

ハブ　　URL、エクスポート時刻、影響を受けたレコード識別子、観測されたエラー、関連イベントの時刻を記録します。キャンペーンイベントは割り当てと、公開イベントはバージョン履歴と、従業員の確認は受領証および確認レコードと比較します。通常の確認がこの管理タブにないだけで、確認が失われたと判断しないでください。

業務上の誤りを修正するためにログエントリを編集または削除しないでください。対応する設定やワークフローをサポートされているインターフェイスで修正し、以前の証跡を保持します。実行者アカウントや詳細には従業員情報が含まれる場合があるため、エクスポートへのアクセスを制限してください。

ヒント

従業員の受領証の詳細は　KB10526.　過去のポリシー確認と受領書を表示する方法、独立したハッシュチェーンチェックは KB10533. 確認ログの整合性を検証する方法　を参照してください。監査エクスポートと整合性チェックの結果は異なる問いに答えるものであり、基になる業務レコードと併せて解釈する必要があります。